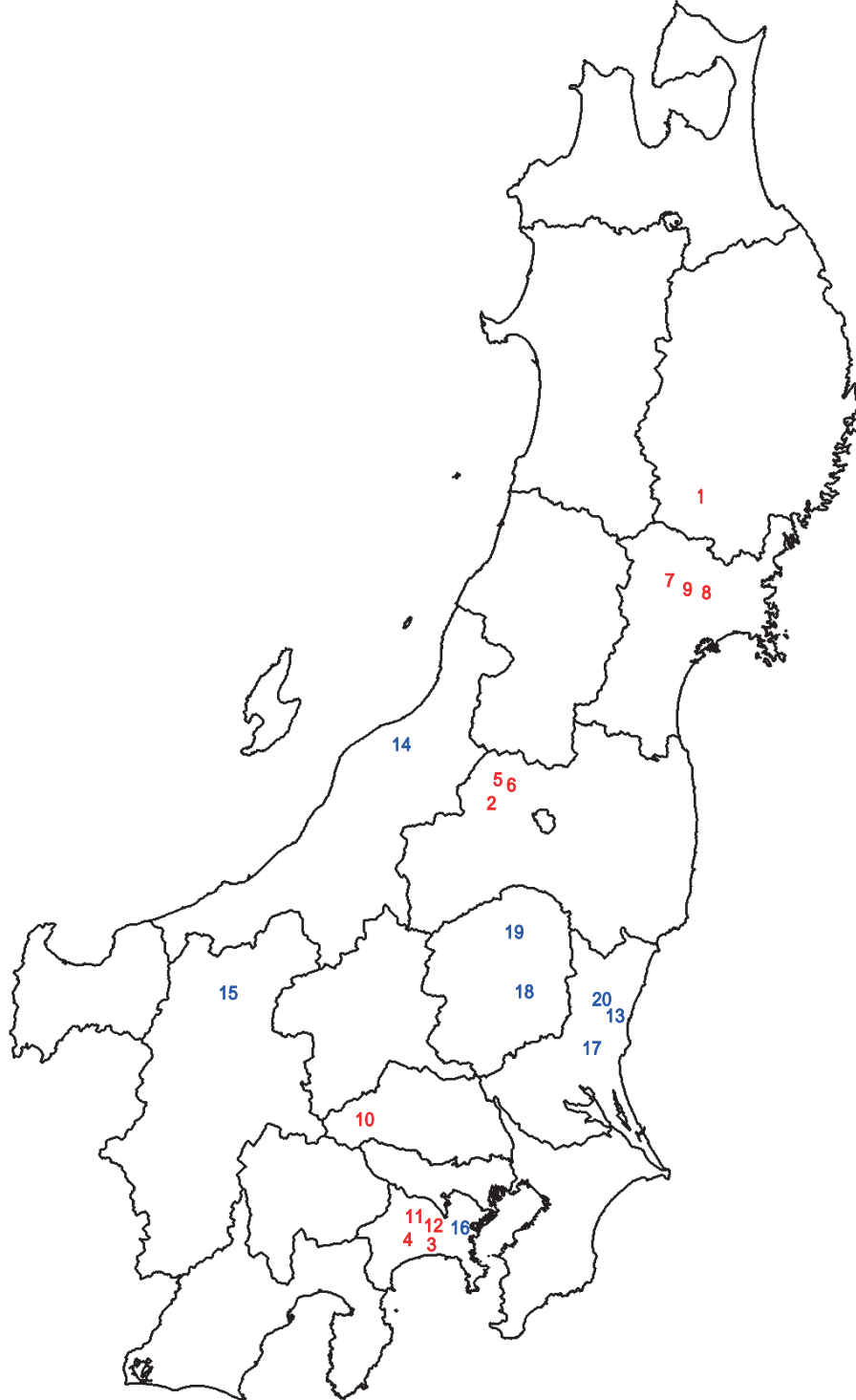


東日本地区 施工実績掲載箇所

平成7年度施工～平成22年度施工分



No1	～	No12	:	追跡調査箇所	12箇所	25,969㎡
No13	～	No19	:	追跡調査完了箇所	7箇所	10,460㎡
			:	次期調査予定箇所	他22箇所	6,324㎡
施工実績 合計						42,753㎡

東日本P.E.C.実績調査現場一覧（平成7年度施工～平成19年度施工分）

頁	No.	施工時期	製品名	現場名	構造	工事名	事業主体
		平成13年 11月	テラックPG III-160 単層	縦貫道	道路法面	東北縦貫自動車道三内工事	日本道路公団 青森工事事務所
		平成14年 9月	テラックPG III-160 単層	縦貫道	道路法面	東北縦貫自動車道・三内工事	日本道路公団 青森工事事務所
		平成14年 9月	テラックPG III-160 単層	縦貫道	道路法面	東北縦貫自動車道・岩渡工事	日本道路公団 青森工事事務所
		平成13年 12月	テラックPG III-160 二層	赤川	低水護岸	H13年度統合一級河川整備工事	青森県 十和田県土木整備事務所
P-67	No1	平成15年 1月	テラックPG II型 単層	北上川	低水護岸	内膳地区護岸工事	国土交通省 岩手河川国道事務所
P-72	No7	平成17年 12月	テラックPG II型 単層	道路	-	宮城県北高速幹線道路 米ヶ浦1号踏道橋	宮城県 栗原土木事務所
P-72	No8	平成18年 3月	テラックPG II型 単層	道路	-	宮城県北高速幹線道路 米ヶ浦2号踏道橋	宮城県 栗原土木事務所
P-73	No9	平成17年 10月	テラックPG II型 単層	道路	-	宮城県北高速幹線道路 多賀3号踏道橋	宮城県 栗原土木事務所
P-68	No2	平成16年 1月	テラックPG I型 単層	阿賀川・日橋川	高水護岸	遠田護岸災害復旧工事	国土交通省 阿賀川河川事務所
P-71	No5	平成16年 1月	テラックPG I型 単層	日橋川	高水護岸	遠田貝沼護岸災害復旧その1工事	国土交通省 阿賀川河川事務所
P-71	No6	平成16年 1月	テラックPG I型 単層	日橋川	高水護岸	遠田貝沼護岸災害復旧その2工事	国土交通省 阿賀川河川事務所
		平成12年 2月	テラックPG III-160 二層	釈迦堂川	低水護岸	広域基幹河川改修工事	福島県 県中建設事務所
		平成14年 5月	ステイプバンク Y型	-	-	力石沢砂防(その1)工事	東京都 南多摩西部建設事務所
P-70	No4	平成15年 3月	テラックPG III-160 単層	目久尻川	低水護岸	湘南保線所管内目久尻川左岸改修工事	民間 JR東日本
P-69	No3	平成10年 10月	テラックPG III型 二層	境川	低水護岸	総合治水対策特定河川工事	神奈川県 藤沢土木事務所
		平成12年 7月	テラックPG III型 二層	境川	低水護岸	H11年度総合治水対策特定工事(その26.27)	神奈川県 藤沢土木事務所
		平成13年 1月	テラックPG III型 二層	境川	低水護岸	平成11年度総合治水対策特定河川工事公共(明許その1)	神奈川県 藤沢土木事務所
P-74	No11	平成17年 12月	ステイプバンク L型 二層	道保川	高水護岸	平成16年度一級河川道保川改修工事	市町村 相模原市土木部
P-75	No12	平成19年 3月	ステイプバンク L型 二層	道保川	高水護岸	平成18年度一級河川道保川改修工事	市町村 相模原市土木部
		平成9年 8月	テラックPG I型 二層	柏尾川	低水護岸	平成8年度総合治水対策特定河川工事(公共)その6	神奈川県 横浜治水事務所
		平成12年 10月	テラックPG III-160 単層	小松が池	低水護岸	小松が池親水護岸整備工事	市町村 三浦市役所
		平成8年 10月	ジェントルバンク 1.0型	宮ヶ瀬ダム	高水護岸	宮ヶ瀬ダム法面植栽工事	国土交通省 宮ヶ瀬ダム工事事務所
		平成12年 2月	PEC平板 0.25型 単層	鳥山川	低水護岸	鳥山川河川改修工事	市町村 横浜市役所
		平成13年 12月	PEC平板 0.25型 単層			電発環境緑化センター屋上緑化	民間 民間
P-73	No10	平成18年 11月	ステイプバンク L型 二層	秩父湖	高水護岸	二瀬ダム麻生地区湖岸整備工事	国土交通省 二瀬ダム管理所
		平成11年 8月	PEC平板 0.25型 単層	新河岸川	低水護岸	新河岸護岸植栽工事	民間 東京電力
		平成9年 7月	テラックPG II型 二層	里川	低水護岸	幡護岸災害復旧工事	国土交通省 常陸河川国道事務所
		平成9年 7月	テラックPG II型 二層	那珂川	低水護岸	那珂西護岸災害復旧工事	国土交通省 常陸河川国道事務所
		平成9年 8月	テラックPG II型 二層	姿川	低水護岸	ゼロ国債国補中小河川改修工事	栃木県 宇都宮土木事務所
		平成10年 11月	テラックPG II型 二層	調整池	低水護岸	山地治水施設単事業	栃木県 大田原林務事務所
		平成12年 2月	テラックPG II型 二層	調整池	低水護岸	H11年度山地治山施設事業谷止工外工事	栃木県 大田原林務事務所
		平成12年 1月	テラックPG I型 二層	那珂川	低水護岸	堀抜下護岸災害復旧工事	国土交通省 常陸河川国道事務所
		平成7年 7月	ジェントルバンク 2.0型	西荒川	高水護岸	西荒川護岸改修工事	国土交通省 那珂川水系ダム管理事務所
		平成8年 12月	テラックPG I型 二層	関川	低水護岸	関川河川改修工事	新潟県 上越土木事務所
		平成10年 3月	テラックPG II型 二層	新発田川	低水護岸	新発田川河川局部改良工事	新潟県 新発田土木事務所
		平成10年 6月	テラックPG II型 二層	福島潟	低水護岸	福島潟放水路護岸工事	新潟県 新潟土木事務所
		平成10年 6月	テラックPG III-160 二層	福島潟	低水護岸	福島潟放水路護岸工事	新潟県 新潟土木事務所
		平成12年 1月	リバーグリーン(特殊) B型 二層	通船川	低水護岸	山ノ下閘門排水機場護岸工事	新潟県 新潟土木事務所
		平成9年 1月	テラックPG I型 二層	藤沢川	低水護岸	藤沢川河川改修工事	長野県 長野建設事務所
		平成9年 1月	テラックPG I型 二層	藤沢川	低水護岸	藤沢川河川改修工事	長野県 長野建設事務所
		平成8年 4月	ジェントルバンク 2.0型	阿木川ダム	低水護岸	阿木川ダム水辺階段植栽ブロック試験施工	国土交通省 土木研究所

実施地場所	経過年数	セグメント	施工規模 (㎡)	勾配(%)	流速(m/s) 高さ(h)	設計 強度(N)	連続空襲 率(%)	充填材	客土	調査担当
青森県青森市三内宇丸山		-	877	1.2	-	18	20	無	高層客土吹付	新和コンクリート工業工業㈱
青森県青森市三内宇丸山		-	2516	1.2	-	18	20	無	高層客土吹付	新和コンクリート工業工業㈱
青森県青森市岩渡		-	200	1.2	-	18	20	無	高層客土吹付	-
青森県上北郡東北町		2	196	1.5	-	18	20	無	発生土	新和コンクリート工業工業㈱
岩手県胆沢郡前沢町	4年 6ヶ月経過	2	1150	2	-	18	20	無	発生土	東日本P.E.C.協会事務局
宮城県栗原市米ヶ浦地内	1年 7ヶ月経過	-	574	1.2	-	18	18	無	無	東日本P.E.C.協会事務局
宮城県栗原市米ヶ浦地内	1年 4ヶ月経過	-	621	1.2	-	18	18	無	無	東日本P.E.C.協会事務局
宮城県栗原市多賀地内	1年 8ヶ月経過	-	721	1.2	-	18	18	無	無	東日本P.E.C.協会事務局
福島県耶麻郡塩川町大字遠田地先	3年 6ヶ月経過	3	8150	1.5	-	18	18	有	発生土+吹付	東日本P.E.C.協会事務局
福島県耶麻郡塩川町大字遠田地先	3年 6ヶ月経過	3	3055	1.5	-	18	18	有	発生土+吹付	東日本P.E.C.協会事務局
福島県耶麻郡塩川町大字遠田地先	3年 6ヶ月経過	3	3080	1.5	-	18	18	有	発生土+吹付	東日本P.E.C.協会事務局
福島県須賀川市		3	526	2	-	18	20	有	無	高村建材工業㈱
八王子市上恩方町		-	36	0.5	-	18	20	有	-	-
神奈川県海老名市宮原	4年 4ヶ月経過	3	1100	2	-	18	20	有	発生土	東日本P.E.C.協会事務局
神奈川県藤沢市湘南台	7年 0ヶ月経過	3	892	1.5	-	18	21	有	無	東日本P.E.C.協会事務局
神奈川県藤沢市湘南台	7年 0ヶ月経過	3	3560	2	-	18	21	有	無	東日本P.E.C.協会事務局
神奈川県藤沢市湘南台	7年 0ヶ月経過	3	1200	2	-	18	21	有	無	東日本P.E.C.協会事務局
神奈川県相模原市下溝地先	1年 7ヶ月経過	2	319	0.5	-	18	18	有	無	東日本P.E.C.協会事務局
神奈川県相模原市下溝地先	0年 4ヶ月経過	2	217	0.5	-	18	18	有	無	東日本P.E.C.協会事務局
神奈川県横浜市戸塚区上蔵田町		3	700	2	-	18	20	有	発生土	調査終了 現況写真掲載
神奈川県三浦市諸磯		3	130	2	-	18	20	無	発生土	-
神奈川県愛甲郡清川村		-	120	0.6	-	18	20	有	-	-
神奈川県横浜市港北区		3	90	0.5	-	18	20	有	無	高村建材工業㈱
神奈川県茅ヶ崎市		-	70	平	-	18	20	-	-	-
埼玉県秩父市大滝	0年 7ヶ月経過	-	1330	0.5	-	18	18	有	無	東日本P.E.C.協会事務局
埼玉県川越市		3	500	1.2	-	18	20	無	無	-
茨城県常陸太田市幡地先		3	1400	3	-	18	20	無	L-Gグリーン	調査終了 現況写真掲載
茨城県茨城県常北郡那珂西		3	450	2	-	18	20	無	L-Gグリーン	調査終了 現況写真掲載
栃木県宇都宮市		3	350	2	-	18	20	有	L-Gグリーン	調査終了 現況写真掲載
栃木県黒磯市		2	320	0.8	-	18	20	無	L-Gグリーン	調査終了 現況写真掲載
栃木県黒磯市		-	80	0.8	-	18	20	有	L-Gグリーン	調査終了 現況写真掲載
栃木県那須郡烏山町		2	4000	2	-	18	20	無	発生土	調査終了
栃木県塩谷郡塩谷町熊ノ草地先		-	40	2	-	18	20	無	-	-
新潟県新井市		2	3000	2	-	18	20	有	L-Gグリーン	調査終了 現況写真掲載
新潟県新発田市		3	100	1	-	18	20	有	無	-
新潟県豊栄市		3	470	2	-	18	20	有	発生土	-
新潟県豊栄市		3	223	2	-	18	20	有	無	-
新潟県新潟市松島		3	140	平	-	18	20	無	購入土	-
長野県長野市		3	60	1.5	-	18	20	無	L-Gグリーン	調査終了 現況写真掲載
長野県長野市		3	100	2	-	18	20	無	L-Gグリーン	調査終了 現況写真掲載
岐阜県中津川市橋場地先		-	90	2	-	18	20	無	-	-

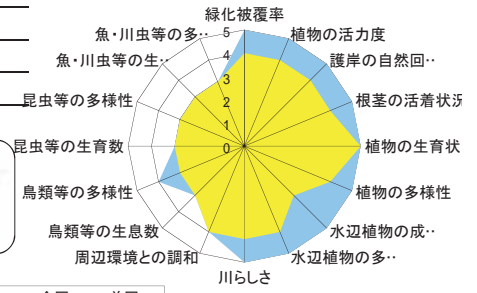
No.1 PECO製品名 テトラックPG II型

工事名 内膳地区護岸工事
 事業主体 国土交通省 岩手河川国道事務所
 実施地場所 岩手県胆沢郡前沢町生母地先

施工時期 平成15年 1月
 調査日 平成19年 7月
 河道セグメント 3
 施工面積 1,150㎡
 勾配 1:2.0

低水護岸 北上川

第4回調査 4年 6ヶ月経過時



構造条件・調査

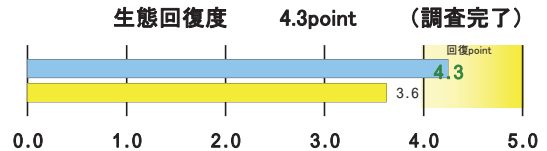
設計条件等	設計流速	-	連続空隙率	18.0%	吸出し防止材	有
	設計強度	18N/mm ²	充填材	無	覆土材	有
	使用砕石	6号	客土材	発生土	ブロック背面	土羽(透水)

製品構造調査

破損状況	無	沈下等	無
本体の劣化	無	客土吸出し	無
背面吸出し	無	凍結融解	無

植生・生態調査

植生目標	有	区分	自然河岸タイプ(中期発現期待型)		
緑化状況	4年経過中 / 3年目標	護岸の方向	南	護岸背面からの水分供給	良好



植物	水辺植物	鳥類	昆虫等	魚類・川虫等
オオバコ・イヌタデ・カゼクサ・カヤムラサキツメクサ・エノコログサ アメリカセンダングサ等	イヌタデ・ムラサキツメクサ オオイヌタデ	サギ・トビ・スズメ	バッタ・クモ・チョウ・トカゲ	コイ・ハヤ

施工状況

施工中



施工直後



施工後7ヶ月



施工後4年6ヶ月



特徴

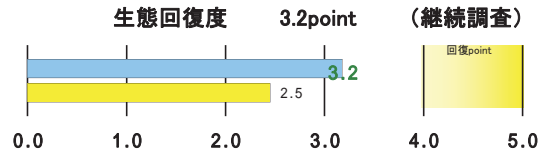
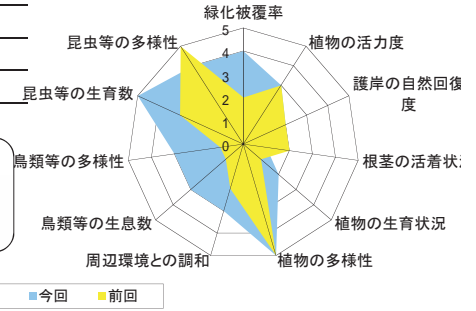
覆土や土砂の堆積により植生の回復は非常に早かった。植物がブロックを覆う程育成したことで、水生生物や昆虫・鳥類等が多数生息し安定した自然河岸に回復した。

PEC製品名 **テトラックPG I型**

高水護岸 阿賀川・日橋川 No.2

施工時期 平成16年 1月
 調査日 平成19年 7月
 河道セグメント 3
 施工面積 8,150㎡
 勾配 1:1.5

第3回調査 3年 6ヶ月経過時



工事名 **遠田護岸災害復旧工事**
 事業主体 **国土交通省 阿賀川河川事務所**
 実施地場所 **福島県耶麻郡塩川町大字遠田地先**

構造条件・調査

設計条件等	設計流速	-	連続空隙率	18.0%	吸出し防止材	無
	設計強度	18N/mm ²	充填材	有	覆土材	無
	使用砕石	6号	客土材	発生土	ブロック背面	遮水

製品構造調査

破損状況	無	沈下等	無
本体の劣化	無	客土吸出し	無
背面吸出し	無	凍結融解	無

植生・生態調査

植生目標	有	区分	自然河岸タイプ(中期発現期待型)		
緑化状況	3年経過中 / 3年目標	護岸の方向	東・北	護岸背面からの水分供給	不良

植物	水辺植物	鳥類	昆虫等	魚類・川虫等
ノシバ・イヌタデ・アオギリ・ヨモギ ギシギシ・オオイヌタデ・ネジバナ スギナ・アメリカセンダングサ等		スズメ・セキレイ	トンボ・アブ・チョウ・アリ クモ・ハチ	

施工状況

施工中



施工後2年6ヶ月



施工後3年6ヶ月



施工後3年6ヶ月



特徴

現場周辺には野鳥が多く自然環境はとても良い現場と言える。周辺の植生状況は良いため、導入種(野芝)以外の植物も多く確認出来た。ブロックの背面は遮水されているが年月を経て徐々に植生が回復している。

No.3 PEC製品名 **テトラックPG III型**

工事名 **総合治水対策特定河川工事**
 事業主体 **神奈川県 藤沢土木事務所**
 実施地場所 **神奈川県藤沢市湘南台6丁目**

構造条件・調査

設計条件等	設計流速	-	連続空隙率	21.0%	吸出し防止材	有
	設計強度	18N/mm ²	充填材	有	覆土材	無
	使用砕石	5号	客土材	無	ブロック背面	土羽(透水)

製品構造調査

破損状況	無	沈下等	無
本体の劣化	無	客土吸出し	無
背面吸出し	無	凍結融解	無

植生・生態調査

植生目標	有	区分	自然河岸タイプ(早期発現期待型)		
緑化状況	8年経過中 / 1年目標	護岸の方向	東・西	護岸背面からの水分供給	良好

植物	水辺植物	鳥類	昆虫等	魚類・川虫等
エノコログサ・イヌタデ・クズ カワラヨモギ・タンポポ・コスモス セイタカアワダチソウ	ヒシ・コケ	シラサギ・ハト・カワセミ	バッタ・トンボ・アリ カタツムリ・アゲハ・ハチ	コイ・稚魚多数 ミズムシ・トビケラ・アメンボ

施工状況

施工後4ヶ月



施工後1年7ヶ月



施工後5年



施工後5年



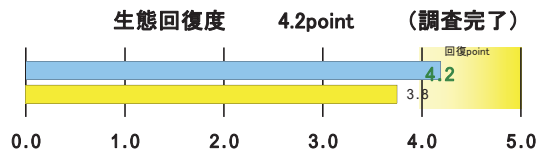
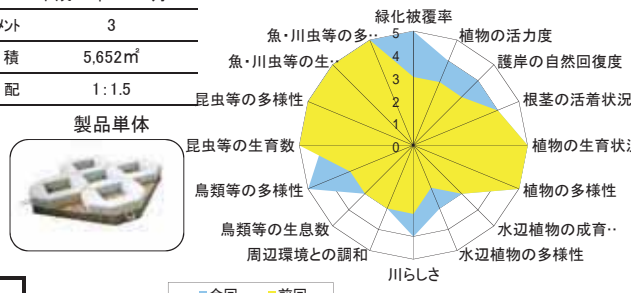
特徴

法面上部の植生は順調に回復している。水衝部においては増水時になぎ倒された形跡が見受けられるが、植物の根は完全にポーラス内部に進入しているので護岸は安定している。

低水護岸 境川

施工時期 平成12年 7月
 調査日 平成19年 7月
 河道セグメント 3
 施工面積 5,652m²
 勾配 1:1.5

第6回調査 7年 0ヶ月経過時



PEC製品名 **テトラックPG III型**

低水護岸 目久尻川 No.4

施工時期 平成15年 3月
 調査日 平成19年 7月
 河道セグメント 3
 施工面積 1,554㎡
 勾配 1:1.5

工事名 **湘南保線所管内目久尻川右岸・左岸改修工事**
 事業主体 **民間 東海旅客鉄道**
 実施地場所 **神奈川県海老名市宮原**

構造条件・調査

設計条件等	設計流速	-	連続空隙率	20.0%	吸出し防止材	有
	設計強度	18N/㎡	充填材	有	覆土材	無
	使用碎石	6号	客土材	発生土	ブロック背面	土羽(透水)

製品構造調査

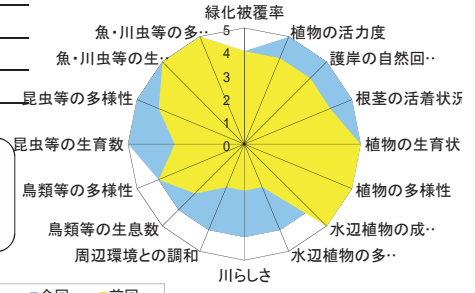
破損状況	無	沈下等	有	軟弱地盤のため施工時から沈下
本体の劣化	無	客土吸出し	有	
背面吸出し	無	凍結融解	無	

植生・生態調査

植生目標	有	区分	自然河岸タイプ(中期発現期待型)		
緑化状況	3年経過中 / 3年目標	護岸の方向	南	護岸背面からの水分供給	良好

植物	水辺植物	鳥類	昆虫等	魚類・川虫等
エノコログサ・イスタデ・ヒメジオン セイタカアワダチソウ・ツユクサ ギシギシ・カヤ等	ツユクサ・イスタデ	シロサギ・スズメ・ツバメ	チョウ・トンボ・カマキリ	小魚多数

第4回調査 4年 4ヶ月経過時



施工状況

施工直後



施工後3年4ヶ月



施工後4年4ヶ月



施工後4年4ヶ月



特徴

増水により植物がなぎ倒された形跡が見られたが、根が活着しているため回復が早かった。日照条件が悪い高架下でも十分な回復が見受けられる。
 水際にも植物が繁茂し周囲には小魚が多数確認できた。

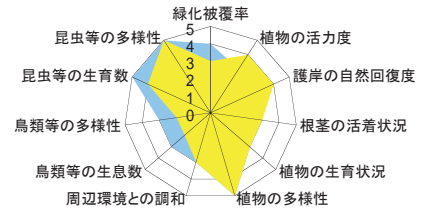
No.5

PEC製品名 テトラックPG I型

施工時期 平成16年 1月
 調査日 平成19年 7月
 河道セグメント 3
 施工面積 3,055㎡
 勾配 1:1.5

高水護岸 日橋川

第3回調査 3年 6ヶ月経過時



設計条件等	設計流速	-	連続空隙率	18.0%	吸出し防止材	無
	設計強度	18N/mm ²	充填材	有	覆土材	無
	使用砕石	6号	客土材	発生土・野芝	ブロック背面	河川遮水

破損状況	無	沈下等	無
本体の劣化	無	客土吸出し	無
背面吸出し	無	凍結融解	無

植生・生態調査

植生目標	有	区分	自然河岸タイプ(長期発現期待型)			
緑化状況	3年経過中	3年目標	護岸の方向	南	護岸背面からの水分供給	不良

植物	水辺植物	鳥類	昆虫等	魚類・川虫等	特徴
オオバコ・ウルシ・ノシバ ギンギン・マツヨイグサ ヨモギ・イタドリ等		スズメ・セキレイ	トンボ・チョウ・バッタ		現場周辺には野鳥が多く生息し、自然環境はとても良好である。周辺の植生状況が良好なため、導入種以外の植物も多く確認出来た。



No.6

PEC製品名 テトラックPG I型

施工時期 平成16年 1月
 調査日 平成19年 7月
 河道セグメント 3
 施工面積 3,080㎡
 勾配 1:1.5

高水護岸 日橋川

第3回調査 3年 6ヶ月経過時



設計条件等	設計流速	-	連続空隙率	18.0%	吸出し防止材	無
	設計強度	18N/mm ²	充填材	有	覆土材	無
	使用砕石	6号	客土材	発生土・野芝	ブロック背面	河川遮水

破損状況	無	沈下等	無
本体の劣化	無	客土吸出し	無
背面吸出し	無	凍結融解	無

植生・生態調査

植生目標	有	区分	自然河岸タイプ(長期発現期待型)			
緑化状況	3年経過中	3年目標	護岸の方向	南	護岸背面からの水分供給	不良

植物	水辺植物	鳥類	昆虫等	魚類・川虫等	特徴
オオバコ・ウルシ・ノシバ ギンギン・マツヨイグサ ヨモギ・イタドリ等		スズメ・セキレイ	トンボ・チョウ・バッタ クモ		現場周辺には野鳥が多く生息し、自然環境はとても良好である。周辺の植生状況が良好なため、導入種以外の植物も多く確認出来た。



PEC製品名 **テトラックPG II型**

施工時期 平成17年 12月
 調査日 平成19年 7月
 河道セグメント -
 施工面積 584㎡
 勾配 1:1.2

- 道路 No.7

工事名 **宮城県北高速幹線道路 米ヶ浦1号踏道橋**
 事業主体 **宮城県 栗原土木事務所**
 実施地場所 **宮城県栗原市米ヶ浦地内**

構造条件・調査

設計条件等	設計流速	-	連続空隙率	18.0%	吸出し防止材	有
	設計強度	18N/mm ²	充填材	無	覆土材	無
	使用砕石	6号	客土材	無	ブロック背面	遮水

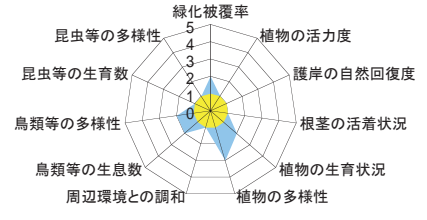
破損状況	無	沈下等	無
本体の劣化	無	客土吸出し	無
背面吸出し	無	凍結融解	無

植生・生態調査

植生目標	有	区分	自然河岸タイプ(長期発現期待型)			
緑化状況	1年経過中	5年目標	護岸の方向	南	護岸背面からの水分供給	良好

植物	水辺植物	鳥類	昆虫等	魚類・川虫等	特徴
スギナ・ヨモギ・カヤ		スズメ			無充填で覆土を施していないので植生回復には時間を要すると思われる。空隙内に飛来種子の着床が確認されたので今後の回復に期待出来る。

第2回調査 1年 7ヶ月経過時



生態回復度 1.5point (継続調査)



施工後3ヶ月

施工後1年7ヶ月

施工後1年7ヶ月



PEC製品名 **テトラックPG II型**

施工時期 平成18年 3月
 調査日 平成19年 7月
 河道セグメント -
 施工面積 621㎡
 勾配 1:1.2

- 道路 No.8

工事名 **宮城県北高速幹線道路 米ヶ浦2号踏道橋**
 事業主体 **宮城県 栗原土木事務所**
 実施地場所 **宮城県栗原市米ヶ浦地内**

構造条件・調査

設計条件等	設計流速	-	連続空隙率	18.0%	吸出し防止材	有
	設計強度	18N/mm ²	充填材	無	覆土材	無
	使用砕石	6号	客土材	無	ブロック背面	遮水

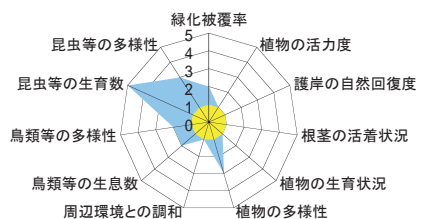
破損状況	無	沈下等	無
本体の劣化	無	客土吸出し	無
背面吸出し	無	凍結融解	無

植生・生態調査

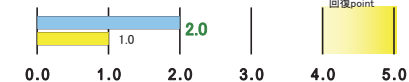
植生目標	有	区分	自然河岸タイプ(長期発現期待型)			
緑化状況	1年経過中	5年目標	護岸の方向	南	護岸背面からの水分供給	良好

植物	水辺植物	鳥類	昆虫等	魚類・川虫等	特徴
シロツメグサ・ヨモギ ツユクサ・ヤハズソウ		スズメ	トンボ・クモ		無充填で覆土を施していないので植生回復には時間を要すると思われる。空隙内に飛来種子の着床が確認されたので今後の回復に期待出来る。

第2回調査 1年 4ヶ月経過時



生態回復度 2.0point (継続調査)



施工後8ヶ月

施工後1年4ヶ月

施工後1年4ヶ月



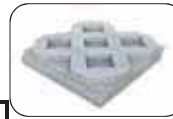
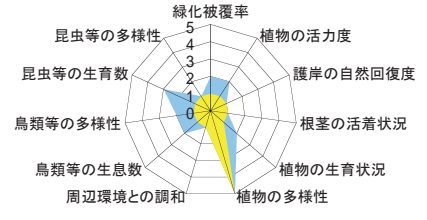
No.9 PEC製品名 **テトラックPG II型**

工事名 **宮城県北高速幹線道路 多賀3号踏道橋**
 事業主体 **宮城県 栗原土木事務所**
 実施地場所 **宮城県栗原市米ヶ浦地内**

施工時期 平成17年 10月
 調査日 平成19年 7月
 河道セグメント -
 施工面積 721㎡
 勾配 1:1.2

- **道路**

第2回調査 1年 8ヶ月経過時



設計流速	-	連続空隙率	18.0%	吸出し防止材	有
設計強度	18N/mm ²	充填材	無	覆土材	無
使用砕石	6号	客土材	無	ブロック背面	遮水

破損状況	無	沈下等	無
本体の劣化	無	客土吸出し	無
背面吸出し	無	凍結融解	無

植生・生態調査

植生目標	有	区分	自然河岸タイプ(長期発現期待型)			
緑化状況	1年経過中	5年目標	護岸の方向	南	護岸背面からの水分供給	良好

植物	水辺植物	鳥類	昆虫等	魚類・川虫等	特徴
イヌタデ・ツユクサ・ヨモギ シロツメグサ・カナムグラ ヤハズソウ等		スズメ	トンボ		隣接法面からの推移により多種の植物が多数確認された。隣接法面の吹付工は現地発生土を使用しており、郷土種での緑化が期待出来る。



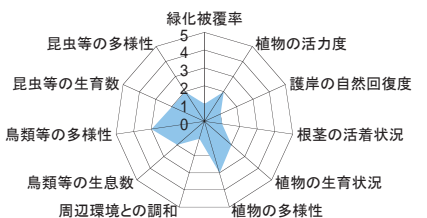
No.10 PEC製品名 **スティーブバンク L型**

工事名 **二瀬ダム麻生地区湖岸整備工事**
 事業主体 **国土交通省 二瀬ダム管理書**
 実施地場所 **埼玉県秩父市大滝**

施工時期 平成18年 11月
 調査日 平成19年 6月
 河道セグメント -
 施工面積 1,330㎡
 勾配 1:0.5

- **秩父湖**

第1回調査 0年 7ヶ月経過時



直高	5.4m	連続空隙率	18.0%	吸出し防止材	無
設計強度	18N/mm ²	充填材	有	覆土材	無
使用砕石	6号	客土材	無	ブロック背面	透水

破損状況	無	沈下等	無
本体の劣化	無	客土吸出し	無
背面吸出し	無	凍結融解	無

植生・生態調査

植生目標	-	区分	自然河岸タイプ(長期発現期待型)			
緑化状況	0年経過中	5年目標	護岸の方向	西・南	護岸背面からの水分供給	不良

植物	水辺植物	鳥類	昆虫等	魚類・川虫等	特徴
ヨモギ・イタドリ・ナスナ ニメジオン		カモ・スズメ	トンボ		国定公園内の自然豊かな環境である。水分供給が厳しい現場だが、部分的に植生が確認出来た。



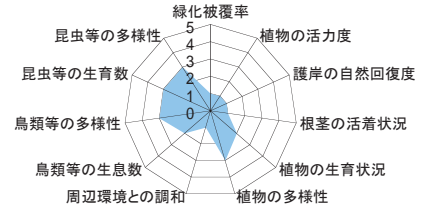
PEC製品名 スティーブバンク L型

工事名 平成16年度一級河川道保川改修工事
 事業主体 相模原市役所
 実施地場所 神奈川県相模原市下溝地先

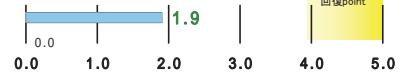
施工時期 平成17年 12月
 調査日 平成19年 7月
 河道セグメント -
 施工面積 319㎡
 勾配 1:0.5

高水護岸 道保川 No.11

第1回調査 1年 7ヶ月経過時



生態回復度 1.9point (継続調査)



設計条件等	直高	3.2m	連続空隙率	18.0%	吸出し防止材	有
	設計強度	18N/mm ²	充填材	有	覆土材	無
	使用砕石	6号	客土材	無	ブロック背面	透水

破損状況	無	沈下等	無
本体の劣化	無	客土吸出し	無
背面吸出し	無	凍結融解	無

植生・生態調査

植生目標	無	区分	自然河岸タイプ(長期発現期待型)		
緑化状況	1年経過中 / 5年目標	護岸の方向	西	護岸背面からの水分供給	良好

植物	水辺植物	鳥類	昆虫等	魚類・川虫等	特徴
アメリカセンダングサ セイタカアワダチソウ アレチウリ・カヤ		スズメ・ハト	ハチ・クモ		遊歩道の土留め擁壁であり河道に接していないため、水分供給が厳しく緑化には期間要すると思われる。



PEC製品名 スティーブバンク L型

工事名 平成18年度一級河川道保川改修工事
 事業主体 相模原市役所
 実施地場所 神奈川県相模原市下溝地先

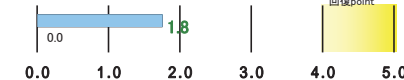
施工時期 平成19年 3月
 調査日 平成19年 7月
 河道セグメント -
 施工面積 217㎡
 勾配 1:0.5

低水護岸 道保川 No.12

第1回調査 0年 4ヶ月経過時



生態回復度 1.8point (継続調査)



設計条件等	直高	3.2m	連続空隙率	18.0%	吸出し防止材	有
	設計強度	18N/mm ²	充填材	有	覆土材	無
	使用砕石	6号	客土材	無	ブロック背面	透水

破損状況	無	沈下等	無
本体の劣化	無	客土吸出し	無
背面吸出し	無	凍結融解	無

植生・生態調査

植生目標	無	区分	自然河岸タイプ(長期発現期待型)		
緑化状況	1年経過中 / 5年目標	護岸の方向	東・西	護岸背面からの水分供給	良好

植物	水辺植物	鳥類	昆虫等	魚類・川虫等	特徴
		スズメ・ハト	ハチ・クモ		周辺の自然環境は良好なので今後の回復に期待出来る。



追 跡 調 査 完 了 に あ た っ て

東日本P.E.C.協会では、当初より施工現場について、その後の植生状況を追跡調査してまいりました。平成19年度調査(追跡調査票2008)にて、当協会が基準と考えた項目を満たした現場については、植生(生態)が工事前の状況に近づき回復したものとみなし調査完了としています。以後は随時必要な場所に応じて調査を行います。今回調査完了とした現場は10現場となり、その内訳はテトラックPGではⅠ型が4現場、Ⅱ型が4現場、Ⅲ型が2現場となりました。テトラックPGに関しては、当初二層構造が主流であった為、二層構造の現場において調査完了が多くなっている。植物の根の進入空隙の約50%を二層構造のコンクリート上部枠により阻害されているが、ポーラス部分への植物の育成に大きな影響を与えることなく十分な植生回復状態が見て取られる。1年程度で植物に覆われる現場も少なくありませんが、一時期の植生状況のみで判断するのではなく、ある程度の期間における外的要因(河川の増水による流出等)を考慮した後において、植生状況が回復していると判断できる現場として殆どの現場において、4~5年程度を目安に生態回復と考えられる現場が多くなっています。

No.13	PEC製品名 テトラックPG Ⅱ型	施工時期 平成9年 7月 調査完了 平成14年度 河道セグメント 3 施工面積 1,400㎡ 勾 配 1:3.0	低水護岸 里川		調査完了迄の期間 約5年			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">工 事 名 幡護岸災害復旧工事</td> <td style="width: 33%;">事 業 主 体 国土交通省 常陸河川国道事務所</td> <td style="width: 33%;">実 施 地 場 所 茨城県常陸太田市幡地先</td> </tr> </table>						工 事 名 幡護岸災害復旧工事	事 業 主 体 国土交通省 常陸河川国道事務所	実 施 地 場 所 茨城県常陸太田市幡地先
工 事 名 幡護岸災害復旧工事	事 業 主 体 国土交通省 常陸河川国道事務所	実 施 地 場 所 茨城県常陸太田市幡地先						
  								

No.14	PEC製品名 テトラックPG Ⅰ型	施工時期 平成8年 12月 調査完了 平成13年度 河道セグメント 2 施工面積 3,000㎡ 勾 配 1:2.0	高水護岸 関川		調査完了迄の期間 約5年			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">工 事 名 関川河川改修工事</td> <td style="width: 33%;">事 業 主 体 新潟県 上越土木事務所</td> <td style="width: 33%;">実 施 地 場 所 新潟県新井市美守</td> </tr> </table>						工 事 名 関川河川改修工事	事 業 主 体 新潟県 上越土木事務所	実 施 地 場 所 新潟県新井市美守
工 事 名 関川河川改修工事	事 業 主 体 新潟県 上越土木事務所	実 施 地 場 所 新潟県新井市美守						
  								

No.15	PEC製品名 テトラックPG Ⅰ型	施工時期 平成9年 1月 調査完了 平成14年度 河道セグメント 3 施工面積 160㎡ 勾 配 1:2.0	低水護岸 藤沢川		調査完了迄の期間 約4年			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">工 事 名 藤沢川河川改修工事</td> <td style="width: 33%;">事 業 主 体 長野県 永野建設事務所</td> <td style="width: 33%;">実 施 地 場 所 長野県長野市</td> </tr> </table>						工 事 名 藤沢川河川改修工事	事 業 主 体 長野県 永野建設事務所	実 施 地 場 所 長野県長野市
工 事 名 藤沢川河川改修工事	事 業 主 体 長野県 永野建設事務所	実 施 地 場 所 長野県長野市						
  								

PEC製品名 テトラックPG I型

工事名 H8総合治水対策特定河川工事(公共)その6
 事業主体 神奈川県 横浜治水事務所
 実施地場所 神奈川県横浜市戸塚区上蔵田町

施工時期 平成9年 8月
 調査完了 平成13年度
 河道セグメント 3
 施工面積 700㎡
 勾配 1:2.0

低水護岸 柏尾川 No.16



調査完了迄の期間
約4年



PEC製品名 テトラックPG II型

工事名 那珂西護岸災害復旧工事
 事業主体 国土交通省 常陸河川国道事務所
 実施地場所 茨城県東茨城郡常北町那珂西

施工時期 平成9年 7月
 調査完了 平成14年度
 河道セグメント 3
 施工面積 450㎡
 勾配 1:2.0

低水護岸 那珂川 No.17



調査完了迄の期間
約5年



PEC製品名 テトラックPG II型

工事名 ゼロ国債国補中小河川改修工事
 事業主体 栃木県 宇都宮土木事務所
 実施地場所 栃木県宇都宮市下欠町

施工時期 平成9年 1月
 調査完了 平成14年度
 河道セグメント 3
 施工面積 350㎡
 勾配 1:2.0

低水護岸 姿川 No.18



調査完了迄の期間
約5年



PEC製品名 テトラックPG II型

工事名 山地治水施設単県事業
 事業主体 栃木県 大田原林務事務所
 実施地場所 栃木県黒磯市囃内

施工時期 平成10年 11月
 調査完了 平成13年度
 河道セグメント -
 施工面積 320㎡
 勾配 1:0.8

低水護岸 調整池 No.19



調査完了迄の期間
約3年

